

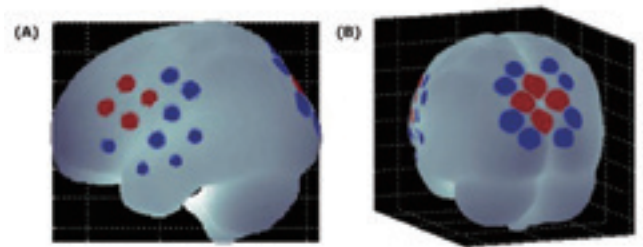
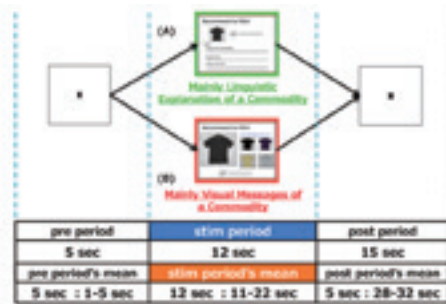
# 感性ロボティクス環境による共生空間の構築と 高次感性サービスへの応用

研究代表者 加藤 俊一 研究員

(\*) 脳活動計測により、知覚感性の計測・モデル化を試みた。

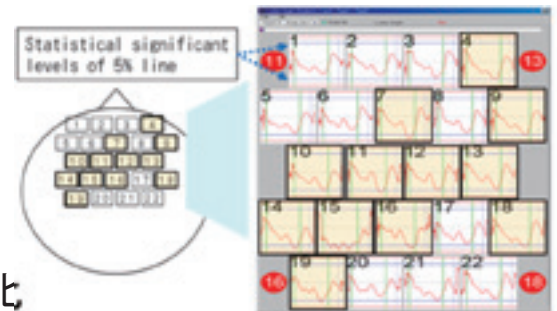
## 知覚感性のモデル化(1) 複合刺激の解釈過程の計測

- 複合コンテンツ(写真・テキスト:視覚刺激)を受容し、主観的に解釈する過程を脳活動(脳血流)を指標として計測する。  
「視線検出」だけでは、どのような処理が行われているかわからない。  
写真に注目: 視覚野が活性化  
テキストに注目: 視覚野 → テキストを解釈: 言語野が活性化



## 知覚感性のモデル化(2) 評価性の計測

- 複合コンテンツ(動画・音声)を受容し、主観的に評価する過程を脳活動(脳血流)を指標として計測する。  
評価性が高いコンテンツ: 前頭前野が活性化



## 知覚感性モデルの応用例

- 購買行動での顧客の興味の対象・関心の度合いを客観的・定量的に計測する。
- 購買意思決定時の重要な要因とその度合いを推定する。
- 興味・関心に合わせてデジタルサイネージを自動生成&提示する。

